

2006 年度

科目名 文化財学特殊研究（文化財構造論）	対象学科・学年 研究科文財(前)1 回生 研究科文財(後)1 回生	担当者 中村 浩
授業テーマ 日本及び東アジア窯業史の研究		
授業の概要と目標 人類にとって土器の発明はその後の生活文化に大きな変革をもたらした。やがて土器から陶器へと技術的な発展がある。本講義では、東アジア及び日本の窯業について歴史的な背景と技術的な見地とから検討を加えてみたい。 また後期は特に年代の基準としての須恵器について考えていく。いずれも授業中に問題提起を行い、それについて議論を進めていきたい。		
評価方法 講義への出席と議論に参加することによって、理解度を判断すると共にレポートを課す。		
テキスト 和泉陶呂の歴史的研究 和泉陶呂窯出土須恵器の型式編年	著者 中村 浩 中村 浩	出版社 芙蓉書房出版 芙蓉書房出版
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 前期 1、授業の進め方 2、東アジアのやきもの（1） 3、東アジアのやきもの（2） 4、東アジアのやきもの（3） 5、日本のやきもの（1） 6、日本のやきもの（2） 7、日本のやきもの（3） 8、日本のやきもの（4） 9、日本のやきもの（5） 10、和泉陶呂について（1） 11、和泉陶呂について（2） 12、和泉陶呂について（3） 13、和泉陶呂について（4） 14、和泉陶呂について（5） 15、まとめ 後期 1、焼き物の編年（1） 2、焼き物の編年（2） 3、焼き物の編年（3） 4、焼き物の編年（4） 5、須恵器の型式編年（1） 6、須恵器の型式編年（1） 7、須恵器の型式編年（1） 8、須恵器の型式編年（1） 9、須恵器の型式編年（1） 10、須恵器の型式編年（1） 11、須恵器の型式編年（1） 12、須恵器の型式編年（1） 13、須恵器の型式編年（1） 14、須恵器の型式編年（1） 15、まとめ		